

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ぼつぷごーん		公表日		令和 8年 3月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・広さが十分にあり、走り回ることのできる部屋と、こじんまりとまとまって、活動する部屋があり、スペースは確保できていると思う。 ・広いスペースを活用し、様々な事に取り組むことが出来る。おもちゃの場所、勉強道具の場所などが用途に応じ場所が別れているので、切り替えしやすい。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	5		・日によっては、スタッフの人数が少ないと感じる。イレギュラーがあると、そこにスタッフが数名とられるので、他が手薄になっていしまう。 ・児童の個別対応や送迎等で一時的に足りなくなる場合があるので、「何人来るか」よりも「誰が来るか」に着目した配置も必要と思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3		・勉強スペース、おやつを食べるスペース、トランプ等で遊ぶスペースが同じになっているのは、構造化された環境と言えるか分からない。 ・クールダウン等が出来る個室が必要。触ってはいけない、登ってはいけない所が多く、設備等の関係で片づけられない、解消できないなどの問題がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・利用者さんが部屋のどのあたりで何をしたいかによって、マットや机を自由に動かせるので、過ごしやすい環境だと思う。 ・日々清掃を行い、好天時は日光を取り入れたりと心地よく過ごせる環境になっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・静養室、応接室、他の会議室等を必要に応じて活用している。静養室内は備品の確認やカーテン設置など、工夫の余地がある。	・廊下に出たり、他の階の部屋に移動してもらうことはあるが、認められているというよりは、最終手段になっている感じがする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3	・詳しい研修があった。	・月に1回ミーティングはあるが、PDCAサイクルと呼べるまでには達成していないと思う。 ・PDCAサイクルを用いた支援の振り返りを行うことで、具体的にどのように支援を行っていくのかが、見えてくるので活用したい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・評価表を用いて、意向の把握を行っている。すぐに職員に周知し、業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎月のミーティングで職員の意見を聞き、支援の見直しや業務改善を行っている。参加出来ない職員や更に細かい内容の意見を把握するために1対1での面談等も活用していきたい。	・ミーティングの際に意見等を言う機会は設けられているが改善につながっているかは分からない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・外部による評価を頂くことで、気付けなかった所が分ったり、より詳しい説明を頂けると思う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		・外部で研修がある場合に知らせてもらえるが、研修は充分でないと思う。 ・年間計画等策定し、計画的に研修を入れる方が良い。時間も短くならないように設定するのが良い。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・運動や音楽、その他のプログラムが多くて楽しめる。	・ホームページ以外でも見られるようにすると職員が都度確認しやすい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		・こどもに対しても、どんな事を目指したいか、聞いてみたり、課題プリントと称して書いてもらう等して把握できれば良いと思う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		・作成前に検討の会議があると、より良い計画が出来る。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・ミーティング時に計画書の共有が行われている。	・いつでも確認できるように保管場所を検討したい。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	・アセスメントシートを用いての状況把握や日々の観察で行動の状況を把握している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		・地域支援、地域連携の内容が難しいが、他事業所との連絡、調整や会議等で連携を図っている点をいれていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		・たくさんの職員に参画してもらい、内容を充実させたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	3		・外部講師によるプログラムが主なので、様々なプログラムの立案を行ってきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		・個別、集団の両面からの具体的な支援を検討し計画に盛り込んでいきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	・プログラムの内容や児童の様子が普段と違う場合は事前に打ち合わせを行っている。	・参加職員に限られているので、各職員が出勤時に確認できるようにしておきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	・気付いた点の共有は出来ている。	・送迎等の都合でその日に共有できない場合もあるので、別途時間を設ける必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	・サービス提供記録にて日々の支援を記録している。	・サービス提供記録にて日々の支援を記録している。記録者が限られているので、様々な職員に参画してもらい、検証の精度を上げていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・ミーティングにて計画書の共有、見直しを行っている。	計画書がいつでも確認出来るよう、保管場所等を工夫し、全職員が共有できるようにしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		・制作活動は月1回程度なので、増やしていきたい。地域交流の機会を増やすため、外出行事等も入れていきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	2		・どのような選択肢があるのか、こどもに合わせて提案をしていきたい。まずはこどもが決めてから、それに対しての評価をアドバイスをするという流れを作っていきたい。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1		・会議の開催を増やしていきたい。特に他事業所を併用で利用している児童に関しては情報共有を行っていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		・協力医療機関は設定しているので、関係機関との連携を強くなるための会議や交流等を行ってきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		・送迎時の時間を活用し、学校との情報共有を行っている。時間は短いことが多いので、別途機会を設けたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	0	・小学校進学に放課後等デイサービスを探す際に、児童発達支援事業所からの紹介があったり、こども部会等で交流の機会がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	・ミーティング等の時間を活用して、卒業生の支援内容や情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0	・児童発達支援センター（まるやま学園）主催の研修に参加させて頂いている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・企画が難しいが、外出行事等を活用して、交流の機会へと繋げていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	・毎月こども部会に参加させて頂いている。研修やイベント等の情報も頂き、参加させて頂いている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡帳にてお伝えしている他に送迎時に直接お話しさせて頂いている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・こども部会等で頂いたイベント情報を保護者に発信している。	・事業所としても家族支援の所を強化していきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・契約時に説明を行い、書面を交付している。	・職員にも同様の書面を渡して把握してもらいのも良いかもしれない。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	・面談等で家族の意向を確認している。保護者のニーズが子どもの最善の利益とずれる場合にはすり合わせを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		・計画書を交付し同意を得ている。交付時に変更店などの説明があると利用者、家族の理解が得られやすいと思う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・常に連絡が取れる状態で、相談に応じ助言を行っている。	・LINE等のツールがあれば、相談しやすいと思う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2		・保護者会を開催し、交流の機会を設けた。活動している場所、使っているおもちゃや教材などを実際に見ていただくことで、詳しくお伝えすることが出来ると思う。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・保護者からの連絡は迅速に対応している。	・苦情対応についてのフローチャートを明文化しておくが良い。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・ぼっぴごーんだよりにて発信をしている。HPやSNSも活用したい。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・ミーティング等では、イニシャルを用いて配慮している。	・請求書等が見える形で入っていたりすることがあるので、気を付けたい。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1	・視覚支援の為、イラストやカードを用いて支援を行っている。	・特定の児童に対してではなく、環境設定にも視覚支援を取り入れたい。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・福祉事業内での交流はあるので、地域に向けた行事等も企画したい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		・マニュアルは常に閲覧できる状態にしておきたい。マニュアルの周知をHP等で行い、家族等にも周知する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		・時間を設けて計画的に取り組みたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・アレルギー等の症状がある児童の周知を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	0	・お菓子等の原材料、成分表示等を見て、アレルギーとなるものが含まれていないか確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3	・お菓子の提供は特に心がけている。	・安全管理、安全計画に基づく研修を年度内に行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2	・避難訓練が定期的にある。	・取組内容について擦り合わせを行い、家族等へ周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	2		・ヒヤリハット事例等を用いて検討会議を行う機会があると良い。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・研修の他、毎月のミーティングでも虐待防止について話し合う機会を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・計画書作成時に説明を行い、同意を得ている。		